

2011 年度日本災害復興学会大会 分科会・ポスターセッションプログラム

<分科会>場所：明治大学リバティタワー14階 1143 教室および 1146 教室（10月8日（土））
7階 1073 教室および 1076 教室（10月9日（日））

同時間に2つの分科会が同時並行で開催されます。各分科会の会場は当日受付でご確認ください。

分科会1「広域避難・自主避難」10月8日（土）10時～12時半

座長：山中茂樹（関西学院大学）

報告者：鳥咲子（早稲田大学）、丹波史紀（福島大学）、佐藤慶一（東京大学）、田並尚恵（川崎医療福祉大学）、高橋義明（元内閣府、現 JICA）

分科会2「復興まちづくり・市街地再生」10月8日（土）15時～17時半

座長：中林一樹（明治大学）

報告者：塩崎賢明（神戸大学）、福留邦洋（新潟大学）、澤田雅浩（長岡造形大学）

分科会3「生業再建・復興特区」10月9日（日）10時～12時半

座長：永松伸吾（関西大学）

報告者：阿部和芳（石巻市会議員）、藤田浩志（農家・野菜ソムリエ）、鹿野順一（釜石市只越町商店街振興組合）

分科会4「法制度・復興財源」10月8日（土）10時～12時半

座長：山崎栄一（大分大学）

報告者：青田良介（兵庫県立大学）、豊田利久（広島修道大学）、永井幸寿（日本弁護士連合会）、津久井進（阪神・淡路まちづくり支援機構）

分科会5「仮設住宅、生活再建」10月9日（日）10時～12時半

座長：木村拓郎（減災・復興支援機構）

報告者：所澤新一郎（共同通信）、黒田裕子（阪神高齢者・障害者支援ネットワーク）、大矢根淳（専修大学）

分科会6「ボランティア・仮設」10月8日（土）15時～17時半

座長：村井雅清（被災地 NGO 協働センター）

報告者：高橋あゆみ（福島大学）、清水玲奈（東北工業大学）、頼政良太（日本財団）、吉田正俊（元菊町本町会会長）

<ポスターセッション>場所：明治大学リバティタワー14階 1141 教室および 1142 教室

「ポスターセッション」10月8日（土）12時半～14時半

吉田澄弘（宮城県在住）「国・地方の復旧・復興の財源について-企業における事業継続マネジメントの観点から-」

小檜山希（帝京平成大学）「復興支援における理学療法士・作業療法士が持つ視点の有効性-JOCV リハビリテーションネットワークの活動から-」

渡辺浩（福岡大学）「東日本大震災における災害ボランティアの活動状況とそれを活かすための方策」

渥美公秀（大阪大学）「災害復興過程へと接続する災害ボランティア活動-東日本大震災における(特)日本災害救援ボランティアネットワークの事例から-」

日野正基（中越復興市民会議）・阿部巧「復興支援を見据えた協働型ボランティアセンターの設立 - 栄村復興支援機構「結い」の活動報告 -」

落合知帆（京都大学）・小林正美「コミュニティ再構築における集会の場の役割」

河内毅（中越防災安全推進機構）「陸前高田モビリア仮設住宅における復興支援について-中越地震の復興の教訓を生かして-」

稲垣文彦（長岡科学技術大学）・上村靖司「中越地震被災地における「機能の内部化」の進捗度分析の試み-川口地区住民を対象としたアンケート調査から-」

宮本匠（大阪大学）・渥美公秀「災害復興の非連続性について-新潟県中越地震のエスノグラフィーから-」

佐藤慶一（東京大学）・廣井悠「東雲住宅避難者アンケート調査の基礎集計と自由記述の概要」

諸橋和行（中越防災安全推進機構）・河内毅・中野雅嗣・北村育美「中越発、協働型災害ボランティアセンターの仕組み-東日本大震災ボランティアバックアップセンターを例に-」

田中貢（近畿大学）「津波をかわす住宅づくりの構想-避難シェルター付住宅等建物側での対応-」

近藤誠司（京都大学）・矢守克也「災害救援ボランティアをめぐる社会的なリアリティ-東日本大震災における災害報道の内容分析-」

石塚直樹（中越防災安全推進機構）「TBA」

北村育美（中越防災安全推進機構）「避難所における避難者の自発性と主体性を引き出す場づくり-福島県郡山市ビッグパレットふくしま避難所の喫茶の事例から-」

西芳実（京都大学）・山本博之「TBA」